- 解説は全10ページです --

※ 解説はバージョンによりまして差異がある場合があります。

Х

下記の手順でダウンロードします。

90日間体験版 🕓 ダウンロード を押します。









インストール方法

デスクトップ等に表示された FGM インストーラ





灣 FileGuard Mail Ver.2.1.43 也카-ア 🗵	(デスクトップに 😅 を置きますか?)
デスクトップにショートカットを作成しますか?	

1



— インストールはここまで —

初期設定

デスクトップにある PileGuard Mail アイコンをクリック または【スタート】→【プログラム】→【FileGuard Mail】をクリック FileGuard Mail が起動されますが初回のみ【ファイルガード・メール起動パスワードの設定】が表 示されます。

ファイルガード・メール起動時のパスワードを	設定します。 OK
※起動時のパスワードは必ず指定してくださ	い。 キャンセル
パスワード	
パスワード確認	

[起動パスワード]はご自身でお決めになるものです。 メモをするなど<mark>絶対に忘れないように</mark>してください。

起動時に不要であれば【ツール】→【ファイルガード・メールの基本設定】→【オプション】で 外せます。



右例図のように名前とメールアドレスを入力してください。 (送信時に、受信者の受信したメールに[**差出人**]として**表示される名前とメールアドレス**です)

名前とアドレス	×		名前とアドレス	×
ここでは、メール送受 詳細な設定は、この: 名前とアドレス 名前 *メールアドレス	(創た必要な基本的項目を設定します。(**)の付いた項目は必須項目) ダイアロダを終了したあとは、アカウンド設定のダイアログで行ってください。 例) 暗号 太郎 ここで入れた名前は、電子メールを送ったとき、 相手の電子メールシフトに変出人として表示されます。 あなたのメールアドレスを入力してください。		ここでは、メール送受 詳細な設定は、この? 名前とアドレス 名前 *メールアドレス	 (正心率な基本的項目を設定します。(**)の方いた項目は必須項目) (アログを終了したあとは、アカウント設定のダイアログで行ってください。 (ターニングソフト (例) 暗号 太郎 (二で入れた名前は、電子メールを送ったとき、 (石手の電子メールジアトに差出人として表示されます。 (mail@tem.jp) あなたのメールアドレスを入力してください。
	<u>〈戻る(B)</u> 汰へ(W)〉 キャンセル	(2	(原の) 次心 (キャンセル) 入力したら次へを非

右図のように接続業者から知らされたサーバー情報4箇所を入力して次へを押す。 (よく確認してください。一箇所でも間違うと送受信できません)

ーバの情報		一サーバの情報	
受信プロトコル(サ	ーバの種類) ③ POP3 〇 IMAP4	受信プロトコル(サ・	-バの種類》
*POPサーバ名	受信メールサーバ、POP3サーバで指定されているサーバ名です。	*POPサーバ名	mail.fgm.jp 受信メールサーバ、POP3サーバで指定されているサーバ名です。
SMTPサーバ名	送信メールサーバで指定されているサーバ名です。	*SMTPサーバ名	mail.fgm.jp 送信メールサーバで指定されているサーバ名です。
ューザID	POPアカウント名、POPアカウント、メールアカウント、メールID、 POPIDなどで指定されている文字列です。	*ユーザID	tazaki POPアカウント名、POPアカウント、メールアカウント、メールID、 POPIDなどで指定されている文字列です。
₹ スワード	メールパスワード、POPパスワードなどで指定されている文字列です。	パスワード	**** メールパスワード、POPパスワードなどで指定されている文字列です。

ご契約プロバイダは@nifty などで独自ドメイン(例 mail@fgm.jp)を使用して送受信する 場合など**迷惑メール対策で**FileGuard Mail起動後に<mark>設定変更の必要</mark>があります。(※10ページ参照)

 学信設定

 学気にをサーブに残す

 ※受信したメールを削除せずにサーブに残します

 ※受信したメールのみダウンロード

 ※サーブにあるメールのみ、防ご受信したものは受信しません

 ダウンロードするメールサイズを制限する

 ③ ダウンロードするメールサイズを制限する

 ③ KB以上のメールは受信しない

 「MAPディレクトリ

 (< 戻る(g) 次へ(g) > キャンセル

1台のパソコンだけでメール(アカウント)を使用する場合は特に理由がない限り、メールをサーバに残さないようにした方が良いでしょう。

他のパソコンでも同一アカウントを使用する場合は、主に 使用するパソコンの[メールをサーバに残す] チェックを はずし、その他のパソコンにはチェックを入れます。

次へを押す。

環境を確認したら次へを押す。

(入力例)

アカウナ名	7加分小名
アカウント名	ፖስታント名
この設定につける名前を入力してください。	この設定につける名前を入力してください。
*アカウント名	*アカウント名 田崎敏夫
ここで設定した名前がメーラーの左上の「アカウント」を選択するときの 名前になります。	ここで設定した名前がメーラーの左上の「アカウント」を選択するときの 名前になります。
☑新著メールの自動受信に追加する	✓ 新着メールの自動受信に追加する
(戻る(B) 完了 キャンセル	〈戻る(日) 完了 キャンセル

— 初期設定はここまで —

(上図のアカウント名はここに入ります)

本体左ツリー部



使用概略

送信者側



送信メールに本文を記載して添付 ファイルがある場合には添付しま す。





暗号化パスワー	ドの入力	X
添付ファイルは、自動的 メールを受信した方が パスワードを指定してく	ОК	
暗号化パスワード(P)		

(送信先すべてに同じパスワード を使用する場合は、何も表示されず に自動的に暗号化されて送信され ます)

図のように事前登録した送信先の 暗号化パスワードをプルダウンか ら選択することもできます。(※12 ページ参照)

(直接入力することもできます)

 OK を押すとパスワードを受信者の復号化キーとして暗号化されて送信されます。



受信者側

特長 暗号化されて送信されて来た添付ファイルは Outlook Express などのすべての メールソフトで復号できます。(Windows XP / Vista / 7 以外は解凍ソフトをインストール)



添付ファイル付のメールとして 受信

(例図では FileGuard Mail で受 信していますが Outlook Express などのすべてのメールソフトで も受信、暗号化を解除(復号) できます)



添付アイ: パスワー す。	コンをクリックすると ドの入力を要求されま
Lhaplus	
'本文.txt' のバス	ワードを入力してください。
	OK スキッブ(S) キャンセル
パスワー された添 (暗号解	ドを入力すると暗号化 付ファイルが復号化 絵)されて聞きます。

※万が一、うっかりミスなどで誤送信した場合でも添付ファイルの情報はパスワードを入力しな い限り見ることができません。

FileGuard Mail は**防ぎようの無い【うっかりミスでの情報漏えいに対応できる】唯一のメールソフ** トとして高く評価されています。

本文の暗号化

他のメールソフトの本文暗号化機能は受信者の本文欄に訳の分からない文字化け表示がなされ、 ウイルスと勘違いされて削除される危険性が潜んでいました。 大切なメールを削除されてしまっては通信手段の意味をなしません。

特長 この難問を弊社独自の発想・開発力で、『本文を送信時に自動的に添付ファイルとし、受信 者の本文欄には事前に入力した②→受信者にハッキリと読める日本語の文章を表示する』ことで 解決いたしました。なお、この文章(コメント)は送信者が自由に書き換えることもできます。

送信者側

本文を送信の都度暗号化する場合は→の暗号化アイコン をクリックして 送信を押します。 また、①→【本文の暗号化をデフォルトでONにする】にチェックを入れると、送信するメール すべての本文を自動的に暗号化します。

下図左は【ツール】【メールエディタの設定】【オプション】



受信者側

受信者がメールを受信すると事前設定した2→ コメントが自動的に本文欄に表示され



左上図 の本文は 自動的に暗号化されて 左図 の添付ファイルに なっています。

※(本文は受信者がハッキリと読める日本語の文章です。ウイルスと勘違いされて削除されることは ありません)



特長 添付ファイル暗号化パスワード事前登録

受信者が日常的に使用しているパスワードを送信者に事前に登録していただくと受信者がパス ワードを覚えやすいので便利です。

登録するには【ツール】→【暗号化パスワード】をクリックすると③起動パスワード入力欄が表示されます。

(暗号化パスワードの設定欄は起動パスワードと同一パスワードで守られています)



受信者の暗号化パスワードを新規登録する場合追加で下図右が開きます。

暗号化パスワードの設定	X	
 パスワードを送信時(2問)、¹合わせる 通常 译本 西原商事 ターニングソフト田崎 日本電信 植木 	追加 支更 削除 上へ移動 T14554	暗号化パスワードの設定 0
○標準のパスワードで自動がに送信する 標準のパスワード kore	<u> </u>	
✓ このバスリート記定画面を起動パスワードでは装する ✓ 暗号化パスワードを送信言済みメールに保存する	閉じる	 ✓ このパスワード設定画面を起動パスワードで保護する ✓ 暗号化パスワードを送信済みメールに保存する 閉じる

参考 暗号化パスワード設定欄を守秘するパスワードは[起動パスワード]と共用しています。 下図は【ツール】→【ファイルガード・メールの基本設定】→【オプション】



ここで設定しているパスワードは 123の共通パスワードです。

設定は正しいのにメール送信できない

お客様ご契約の一部のプロバイダで迷惑メール対策として最近導入し始めた OP25Bによる影響ではないかと思われます。

例)ご契約プロバイダは@nifty などで独自ドメイン(例 mail@fgm.jp)を使用して送受信する場合。(その他 wakwak、hi-ho、yahoo!BB、J:com なども設定変更しなければならない可能性があります) 詳細はご契約のプロバイダにお問い合わせください。





【接続情報】

SMTP ポート番号(25)を(<mark>587</mark>)に変更

SSL に対応の Jcom などでは <u>SMTPS</u>にチェックを いれて(<mark>465</mark>)に変更。 なお、STATTLS に対応していますのでポートは自 由に指定できます。



※ CRAM-MD5の**チェックを外すだけで上記設定変更は一切しないサーバ環境**もあるようです。 ※ アカウントの設定の「送信設定」で「指定のアドレスに BCC で送信」欄にOがあれば削除。